■本資料のご利用にあたって（詳細は「利用条件」をご覧ください）

本資料には、著作権の制限に応じて次のようなマークを付しています。
本資料をご利用する際には、その定めるところに従ってください。

＊：著作権が第三者に帰属する著作物であり、利用にあたっては、この第三者より直接承諾を得る必要があります。

CC：著作権が第三者に帰属する第三者の著作物であるが、クリエイティブ・コモンズのライセンスのもとで利用できます。

：パブリックドメインであり、著作権の制限なく利用できます。

なし：上記のマークが付されていない場合は、著作権が東京大学及び東京大学の教員等に帰属します。無償で、非営利的かつ教育的な目的に限って、次の形で利用することを許諾します。

Ⅰ　複製及び複製物の頒布、譲渡、貸与
Ⅱ　上映
Ⅲ　インターネット配信等の公衆送信
Ⅳ　翻訳、編集、その他の変更
Ⅴ　本資料をもとに作成された二次的著作物についてのⅠからⅣ

ご利用にあたっては、次のどちらかのクレジットを明記してください。

東京大学　Todai OCW　朝日講座「知の冒険」
Copyright 2013,　大野博人

The University of Tokyo / Todai OCW　The Asahi Lectures “Adventures of the Mind”
Copyright 2013, Hiroto Oono

「知と幸福――研究の現場から考える「しあわせ」概念」

なぜ「人の不幸」を伝えるのか

朝日新聞　大野博人

不幸＝社会の矛盾

1　14版　2011年(平成23年)12月4日　日曜日　朝日新聞　1892年3月11日第3種郵便物認可

カオスの深淵

借金が民主主義を支配する

民主主義への道は、人々を借金の苦しみから解放しようとした男が切り開いた。

紀元前6世紀初めのアテネ。貧しい市民の多くは、金持ちから金を借りてやりくりしていた。借金のかたは自分の体。返せない者は奴隷になった。アテネ大学のエフゲニア・マキギアンニ教授（古典文学）によると、落ちぶれた人が増え、社会には緊張が高まっていたという。

そこに、ソロンという政治指導者が登場する。

彼は借金を帳消しにし、多くの人を隷属状態から市民に戻した。人間を借金のかたにすることも禁じた。さらに、富裕層などに限られていた政治参加を貧しい市民に広げた。次々打ち出した改革は、古代民主制の土台になったとされる。

そんな出自を持つ民主主義が今、世界中で借金の前に立ちすくんでいる。

「ソロンの時代は、経済も政治もアテネの中の話だった。でも、今はグローバル化した市場が相手。どうしようもない」と教授はあきらめ顔だ。最近、給料が3割カットされた。

債務危機は出口が見えない。欧州連合（EU）ではギリシャ危機などの処理にもたつくうちに、大国ドイツの国債さえ火の粉をかぶった。欧州に解決を促す米国でも、財政赤字を削減するための与野党協議は決裂。日本の政治も債務問題で迷走を続けている。そして多くの民主主義国で、じりじりと予算が削られ、福祉や教育が後退し失業者が増えている。

「あれは血に飢えているんだ」。グローバル市場を獣にたとえたのは、ニューヨーク・ウォール街で金融界に抗議する集会の参加者ではない。アテネ商工会議所のコンスタンチノス・ミカロス会頭だ。市場の猛威を目撃した者の恐怖がにじむ。

ギリシャ中央銀行によると、同国ですでに50万世帯が無収入状態。欧州全体も長い景気後退は避けられそうにない。国内総生産（GDP）でユーロ圏の約2%にすぎないギリシャから始まったドミノ倒しは、98%の国々の民主主義も追い詰めている。

市場に退場を命じられたように、ギリシャのパパンドレウ首相に続いてイタリアのベルルスコーニ首相も去った。どちらもEUとつながりの強いテクノクラートに交代した。選挙はなし。「われわれを統治するのは政府ではなくて市場だ」と会頭は困惑を隠せない。

パパンドレウ政権で経済相などを務めたルカ・カツエリ国会議員は「これは金融市場との戦争だ」という。「今は確かに民主主義が侵食されている。しかしそれは闘いに勝つため。負ければすべてを失う」

フランスの歴史家、エマニュエル・トッド氏は「今や民主主義が闘う相手は借金だ」と話す。債務返済のために各国が国民に強いる痛み。それは結局「金融界が国家を通して人々から取り立てる課徴金にほかならない」とも。

アテネ下町にある古ぼけたビルの一室。借金に悩む人のためのNPO相談所だ。訪ねる人が経済危機以来8割も増えた。

テオドロス・タンプロス代表は、解雇で住宅ローンが払えなくなり、銀行に自宅を取り上げられる人が増えていると言う。「このままだとローンを抱える人の6割が家を失いそうだ」

ソロンは詩人でもあった。残された作品にこうある。

「人々の上に立つ者たちが不正で財をなす。聖なる宝も公共の財産も奪う。そして正義という神聖な原則さえないがしろにする」

今年、世界中で多くの市民が街頭に出て異議を申し立てた。豊かさをもたらすはずのグローバル化が、「神聖な原則」をなぎ倒し、社会に混沌（カオス）を広げていることへの抗議ともいえる。

私たちは今日から3回、欧州危機の意味することを報告し、新年正月にも民主主義の課題について記事を連載する。その後も、この混沌について取材と報告を続けていく。

（編集委員・大野博人）

ロンドン

フランクフルト　アテネ　トゥーロン(仏)　ベルリン

ずれる時間

市場に遅れるな、もっと早く。欧州で政治がせきたてられている。

「欧州が早く変わらなければ、歴史は欧州抜きで書かれることになる」。サルコジ仏大統領の1日の演説には焦りの色が濃かった。

ギリシャの債務危機以来、欧州連合（EU）の対応は市場に出し抜かれ続けた。加盟国で話し合って結論を出す余裕もなくなった最近は、独仏2大国が流れをつくる場面が増えている。とりわけ経済の要であるドイツの姿勢を市場は見極めようとする。

しかし、2日に演説したメルケル独首相は「マラソンに勝つのは、最初に駆けだした者ではない」。自国世論の支持がないまま動く気配は見せない。

ジュネーブでヘッジファンドを経営するフィリップ・ジャブレ氏は「政治家は『5年の時間をくれ。そうすれば問題をただすことができる』という。しかし、それは5年前にやっておくべきことだ」と容赦ない。「お金を貸している国債投資家たちは心配になれば売る。そして金利が上がる。金利が上がれば債務がどんどん大きくなってしまう。市場はこうした負の連鎖を作りだしているわけではない。加速してはいるだろうが」

だが、その「加速」が、時間をかけて議論をする民主主義の土台を揺るがす。

市場の速さについて行こうとすれば民主主義は制限される。民主主義を尊重しようとすれば市場が社会を窮地に追い込む。民主主義はわなにはまったように見える。

2面につづく

（写真はロイターほか）

欧州発の危機

＊ © 朝日新聞社

2013年(平成25年)1月18日 金曜日 朝日新聞 1892年3月11日第3種郵便物認可 ©朝日新聞社 2013年 45512号(日刊)

軍突入、多数死亡か

アルジェリア人質事件

邦人2人脱出情報も

アルジェリア南東部イナメナスの天然ガス関連施設で起きたイスラム武装勢力による外国人人質事件で、アルジェリア軍は17日夜ごろ、人質救出作戦を進行した。複数の現地メディアが報道し、菅義偉官房長官も確認したと会見で明らかにした。武装勢力、人質の双方に多数の死者が出た模様だ。日本人2人が脱出したとの情報がある。

武装組織が襲撃したアルジェリア南東部イナメナスの天然ガス関連施設。ノルウェーのエネルギー企業スタットオイル社が提供。2005年4月撮影＝AP

中東の衛星放送アルジャジーラによると、救出作戦ではアルジェリア軍ヘリコプターが、施設内を移動しようとした武装勢力と人質の車両を攻撃、司令官を含む犯行グループ側15人、人質35人が死亡した。人数については複数の情報が錯綜している。

同施設には当初、プラント建設会社「日揮」の社員ら日本人3人の人質がいるとされた。日本政府関係者は、この3人とは別に日本人10人の安否も確認できていないとしていた。

菅長官は、アルジェリア軍が人質解放のための攻撃を始めたとの情報を駐アルジェリアの英国大使から得たという。アルジェリア治安筋は17日、ロイター通信に対し、日本人2人を含む外国人人質35人が施設から脱出したと語った。氏名は明らかになっていない。救出作戦強行前の行動とみられる。

解放されたアルジェリア人人質はアルジャジーラに対し、「犯行グループには、エジプト人、チュニジア人、アルジェリア人のほか、西欧人風で英語を話す男もいた」と話した。

一方、モーリタニアの地元通信社は17日、事件の実行犯の一人の情報として日本人1人を含む外国人4人を伝えた。英国人1人、米国人2人、ベルギー人3人が含まれている。軍が近づけば人質を殺害するとの脅迫をしているが、軍がこの場所でも作戦を開始した模様だという。

武装勢力は、国際テロ組織アルカイダ関連の「覆面旅団」の傘下にある「血盟団」と名乗り、アルジェリアの隣国マリに軍事介入したフランス軍の撤退や、アルジェリアが拘束した仲間の釈放などを要求。外国人50人、アルジェリア人約1500人を人質に取っていたとみられる。

この日、救出作戦が始まる前、アルジャジーラは、拘束されている日本人を含む人質3人の電話インタビューを報じた。日本人は「サトシ・キヤマ」と名乗り「アルジェリア軍の攻撃で16日、負傷した。ミニバスに乗っていた。襲撃犯らといる。状況は悪くない」と英語で話した。「ノルウェー人も負傷している」と話した。

日揮によると、木山聡さんとみられ、現地の建設現場の監督役だという。日本人1人が拘束時に負傷したことを確認した。救出作戦後、木山さんの安否は確認されていない。

アルジャジーラのインタビューを受けた英国人、アイルランド人の人質はいずれも「アルジェリア軍は施設の一部を爆撃するなど無謀なことをしている」と語った。犯行グループの指示に従って発言した可能性もある。

アルジェリアのウルドカブリア内相は16日、国営テレビで「テロリストの要求には応じず、いかなる交渉も拒否する。」と述べ、強硬措置を示唆していた。

（カイロ＝石合力）

危険の回避 首相要請

官房長官 未明会見

バンコクを訪問中の安倍晋三首相は17日夜（日本時間18日未明）、アルジェリアのセラル首相と電話で協議した。菅義偉官房長官が18日未明、首相官邸で記者会見して明らかにした。

安倍首相は「人質の生命を危険にさらす行動を強く懸念しており、厳に控えてほしい。人質の無事解放に向け、適切な対処をとってほしい」と要請。セラル首相は犯人グループについて「非常に危険なテロ集団だ」とした上で「（軍の行動は）最善の方法で、作戦続行中だ」と説明したという。

また、アルジェリアに派遣された城内実外務政務官も17日、岡田のメデルチ外相と会談。日本外務省によると、城内氏が軍による攻撃の即刻中止を求めたのに対し、メデルチ外相は「人命の安全が最優先なのは日本政府と同じ認識だ」と答えたという。

朝日新聞
2013年(平成25年)1月18日 金曜日
本日の編集長＝平山長徳
朝日新聞東京本社
〒104-8011東京都中央区築地5-3-2 電話03-3545-0131 www.asahi.com

* © 朝日新聞社

不幸＝社会の矛盾？

朝日新聞　1997年(平成9年)9月1日　月曜日　40056号　(日刊)

ダイアナさん事故死

カメラマンが猛追
振り切る際、壁に激突
パリ

今が人生の再出発の時よ

36歳 断たれた「新たな恋」

2王子への伝達、父から

英皇太子が遺体と対面

朝日新聞

＊　© 朝日新聞社

過激マスコミに憤り

ダイアナさん事故死

「犯罪だ」とラジオ

カメラマンに非難の声

96年5月、英国立バレエのロンドン本部で会合を終えたダイアナさん。右隣のカメラに気付いた＝ロイター

時時刻刻

しつこさに涙、一方で利用も

メディアも自制の動き

世界巡った突然の悲報

欧州各国

人柄しのぶ声明次々

仏大統領「大きなショック」

米大統領「惨事悲しむ」と追悼

修道女と祈り

根本首相も「お御やみ」

天皇陛下・皇后

＊ © 朝日新聞社

再出発…やすらぐ間なく

ダイアナさん パリで激突死

救命3時間、望み届かず

事故直後も撮影 怒る市民

即死はOK

エジプト人の大富豪

ヒット映画製作参加

共に死んだ新しい恋人

魅惑の気品 今は思い出

日本各地、3度訪問

地雷廃絶運動にも共感

子供に微笑む

パンと共感

「過激取材は日本以上」

芸能リポーターらに聞く

背景に高値買い取り／歯止めきくか 今後試される

＊ © 朝日新聞社

1997年(平成9年)9月1日　月曜日　12版　26

笑顔は戻らない

ダイアナ元英皇太子妃

すき間風　ダイアナさんは、チャールズ皇太子（右端）と結婚式後にあってからも公式行事にはしばしば顔を見せた。1986年6月19日、ロンドンで開かれた対南極横断調査隊記念式典で、ウィリアム（左2人目）、ヘンリー（同3人目）両王子とともに最前列人のパレードを参観＝AP

日英交流　昭和2月に3度目の来日。東宮御所に皇太子ご夫妻を訪問し、同世代の友好を温めた（代表撮影）

世紀のキス　約年7月29日、チャールズ皇太子と結婚し、熱いロブリを交わす。皇太子妃としての華やかしい門出は、世界中の視線を浴びた＝ロイター

子の力に　約年8月9日、ボスニア・ヘルツェゴビナのリブラ分離の際で、幼人母子父親を失った子供たちを見舞って励ました＝ロイター

衝撃と悲しみ、英国包む

ダイアナさん事故死

市民ら宮殿に献花

31日、ロンドンのバッキンガム宮殿前には多くの市民が詰まり、ダイアナさんの死を悼んだ＝ロイター

「最高の大使だった」市民ら

国王、仲介に含み

カンボジア　当事者に会談促す

＊ © 朝日新聞社

「読者の需要、あればこそ」

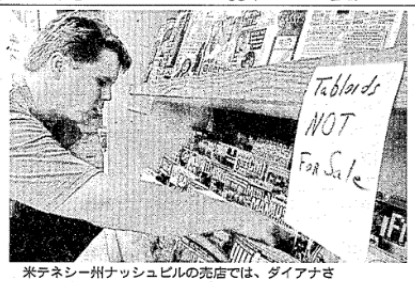
在京の英国人記者に聞く

ダイアナ元英皇太子妃らの悲劇的な事故死は、パパラッチと呼ばれるカメラマンの存在と、一枚の写真を数千万円の高値で買い

自制強い日本では無縁 掲載大衆紙なくならず

過熱写真報道

ダイアナさん事故死



米テネシー州ナッシュビルの売店では、ダイアナさんの事故死をきっかけに「タブロイド紙は売りません」とのお知らせを掲げるところも現れた＝AP

【パリ3日＝小堀仁、大野博人】「私はダイアナさんが好きだった。だから彼女の出ている新聞や雑誌はみんな買っていた。パパラッチはひどい。彼らが殺したのよ。彼らを何とかしなければ」――ダイアナ元英皇太子妃が事故死した八月三十一日、パリ市内の病院の前で、中年女性が泣きながらテレビに向かって喋いた。この女性のような存在が実はパパラッチを支えているのだが、本人はまったく気付いていないようだ。そこに、今回の悲劇が浮き彫りにしたものの根の深さがある。

いま、南仏ペルピニャンで世界巡回写真展が開かれている。責任者のジャンフランソワ・ルロア氏(60)は「多くのマスコミが事件を喋くが、そのマスコミこそが、危険を冒して撮影したソマリアやアルジェリアの悲劇を伝える写真ではなく、有名人の写真を買って掲載してきたではないか。市民もそうだ。明日になればそのへんたちもダイアナさんの線巻き裸体の写真が載った新聞を買うだろう。こうした公衆こそ問題にされるべきだ」と話した。

この写真展に作品を出したクリスチャン・デカン氏は「カメラマンも、写真通信社も、新聞雑誌も、読者も、みんなが少しずつ責任がある」という。

事故の現場が迫み、運転手の飲酒運転の疑いが強まったこともあって、フランスではパパラッチに対する風当たりはやや弱まってきた。政府の報道官、トロトマン文化・通信相は事故翌日、国内メディアに向かって取材上の倫理綱領をつくるべきだと主張した。しかし、必ずしも賛同を得たわけではない。

三日付ルモンド紙は「偽善者の舞い」と題した社説で、盗み撮りなどをするカメラマンのモラルの低下を、やり玉に挙げる有名人やその遺族、政治家に「ちょっぱぎはあるだろうが、彼らに教訓をたれることができるのは報道関係者でも有名人でもないはずだ」と書いた。

保守系のフィガロ紙は二日の社説で「プレスは暗ら

プレスも、別の機会にそのカメラマンたちの写真を使っている」と報道の姿勢にも批判の視線を向け、「天安門で、サラエボで、チェチェンで、命をかけて報道しているのも同じカメラマンだ。時に行き過ぎがあるとしても、プレスは、カメラマンの写真を買い、掲載しているのだ。個別の努力だけで、ダイアナ事件があぶり出した「偽善の連鎖」を断つことは難しい。だから、各所でいらだちが渦巻いている。

なければならない。パパラッチに弁護の余地はない」と言い出した。

だが、「読者はのぞき趣味を身につけ、スターが自らパパラッチを利用して自分を売り込むようだ。世界全体が不健康になってしまった。パパラッチを責める前に、われわれ自身の習慣を問題にしなければならない」と弁解を加えることも忘れなかった。

カメラマン、写真通信社や新聞雑誌、それに読者。

メディア●マルチ●メディア

「車から距離あった」

匿名カメラマンが証言

ダイアナさん事故

【ボン3日＝聚会順】ダイアナさんの車を追っていたフランス人パパラッチの一人は三日、ドイツ・プロ7テレビのインタビューに対し、「当時、われわれ全員がダイアナさんの車に二百メートルも引き離されており、事故車の前には一人もいなかった」と述べた。同テレビはこの男性の名前は明らかにしていない。

男性は「ダイアナさんの車がトンネルに入った時、追っかけは終わった。われわれは追いつけないと分かったからだ」と話した。

現場の様子については、「トンネルの中は虐殺があったかのようだった。シャッターを押しながら、私はショック状態だった」と話し、「私は（ダイアナさんらを）助けようとしなかった。そして現場を去った」と告白した。

また、ダイアナさんの車を追おうとした際、車の運転手が「今夜はつかまえられないぞ」と叫ぶのを聞いたとし、車は一回赤信号を無視し、何回もふらついたと話した。

パパラッチを法規制せよ

米国で法案化の動き

【ロサンゼルス3日＝都丸修】ダイアナ元英皇太子妃交通事故死にからんで、米カリフォルニア州議会がパパラッチを規制する法案作りに動き始めた。二日、民主党のトム・ヘイドン、チャールズ・カルデロン両議員が明らかにした。

被写体に一定の距離を設くよう義務づけたり、強力な望遠レンズを使った自宅やプライベートなところの撮影を禁じたりする、といった内容だ。州議会では今後、パパラッチ問題の公聴会を開くことも検討している。

*© 朝日新聞社

ダイアナさん〝世界〟が葬送

「ありがとう」英国から

＊© 朝日新聞社

愛と悲しみ ダイアナロード

沿道に市民100万人

虚像数々…最後まで好奇の目

【ロンドン6日=荒野浩】「さらば、ダイアナ」。六日朝、ダイアナさんを乗せた霊柩車がゆっくりと出発すると、沿道に詰めかけた市民の間からこの言葉が何度も聞こえてきた。ロンドンの中心部を通り、ウエストミンスター寺院に向かうこの日、ロンドンは一日、ダイアナさんの話題で持ちきりだった。

午前8時(日本時間午後4時)、霊柩車がゆっくりと出発すると、花が投げられ、出発だと、花をまき、ハンカチを振る人々。「ダイアナ、ごめんなさい」と泣き崩れる人。「ダイアナ、ごめんなさい」と泣き崩れる人。「ダイアナ、ごめんなさい」と泣き崩れる人

朝日新聞 夕刊
朝日新聞東京本社
〒104-0045 東京都中央区築地五丁目五番一号
電話 03-3545-0131 郵便番号 104-8011
©朝日新聞東京本社 1997

1997年(平成9年)9月6日 土曜日 40061号 (8頁)

朝日新聞 (夕刊)

マザー・テレサ死去

貧困層救済に生涯

ニューデリー＝8日＝宇佐美雅人＝インドを拠点に貧困層の救済に献身を続け、一九七九年にノーベル平和賞を受賞したカトリック修道女、マザー・テレサが五日午後七時半（日本時間六日午前一時半）ごろ、心臓発作のため、カルカッタ市内の「母の家」で死去した。八十七歳。葬儀は十日に営まれる。

マザー・テレサ修道女の死去を受けて、教皇ヨハネ・パウロ二世は、「貧しい人々のために生涯を捧げた偉大な人物を失った。教皇は、彼女の献身的な生涯に感謝し、その魂の安らぎを祈る」とのメッセージを発表した。

インドのナラシマ・ラオ首相は、「インドは、最愛の娘を失った。マザー・テレサは、インドの貧しい人々のために生涯を捧げた。インドは、彼女の献身的な生涯に感謝し、その魂の安らぎを祈る」とのメッセージを発表した。

インド、ネパール、ルーマニアなどの国旗は、半旗となった。

ローマ＝十八日＝ロイター＝ローマ教皇庁は、マザー・テレサの葬儀ミサを、ローマ・カトリック教会の聖人の列聖式の前日に、バチカンで行なうと発表した。

マザー・テレサは、ローマ・カトリック教会の聖人の列聖式を、ローマで行なうことを希望していたという

「レセプトは金券」

病院で…医療費膨張 透ける構図

時時刻刻

老人カルテ選び改ざん 患者の死後も「通院」に

架空病名書き保険適用 医師の間で「半ば常識」

改革はだれのために

証券取引の苦情・相談急増

日証協まとめ 昨年同期の倍以上に

2カ月で死者1000人超 虐殺、一夜で300人にも

アルジェリア

温暖化進めば 森林が発生源

広島大教授予測

半分近い種 絶滅の危機

米研究所発表

「衝撃と不安」

* © 朝日新聞社

Daniel. J. BOORSTIN

（social historian, born October 1 1914; died February 28 2004 ）

The Image

A GUIDE TO PSEUDO-EVENTS IN AMERICA

PSEUDO-EVENTS

＝ 疑似イベント

Daniel J. Boorstin,
The Image: A Guide to Pseudo-Events in America,
New York: Vintage Books, a division of Random House, Inc., [2012], c1961.

朝日新聞　２０１３年１月６日　朝刊　１ページ　東京本社

食いねぇ 1.5億円マグロ

築地市場の初競りで、史上最高値の1億5540万円で競り落とされた生鮮本マグロは5日午後、市場近くのすし店で解体され、定価で来店客に振る舞われた。（小川智撮影）▼38面＝さすがに高すぎ？

デジタル版に動画

© 朝日新聞社　無断複製転載を禁じます。
すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

* © 朝日新聞社

朝日新聞　２０１３年１月６日　朝刊　３８ページ　東京本社

マグロ初値 さすがに高すぎ？

史上最高１億5000万円

「市場価格ゆがめている」

5日にあった東京都中央区の築地市場の初競りで、222キロの生鮮本マグロが史上最高値となる1億5540万円で競り落とされた。昨年出た過去最高値の3倍という高騰ぶりに、「市場価格をゆがめている」などと批判の声も上がっている。

▼1面参照

午後3時過ぎ、同区築地の「すしざんまい」本店。詰めかけた報道陣と見物客の前で、木村清社長(60)が朝に競り落とした史上最高値のマグロを解体し始めた。日本刀のような長い包丁を振るって切り分ける。

史上最高値で競り落とされたマグロのすしを食べるカウンターの客＝5日午後、東京都中央区、金川雄策撮影

1貫5万円相当

競り落とした値から考えると1貫あたり4万～5万円相当だが、大トロ（398円）などの通常価格で提供した。最高値のマグロを一口でも味わおうと100人を超す行列ができた。大トロをほおばった女性は「歯ごたえがあって、甘い。おいしい」。

最高値の更新は3年連続だ。昨年の5649万円を1億円近く上回った。

近年、銀座の高級すし店と香港のすしチェーンが共同購入の形で競りに参加。すしざんまいと、その年一番のマグロをめぐって「デッドヒート」を繰り返し、年々、高騰してきた。

その銀座の高級すし店の店主は「今年出せるのは5千万円まで。超えたところで降りた」と話す。その後は香港チェーンの実業家が競り続けたという。店主は「昨年の価格でも常軌を逸している。宣伝効果があっても『金に飽かして』と言われかねない」と話す。

高値は1本だけ

こうした飛び抜けた値が付くのは1本だけだ。この日競りにかけられた生鮮マグロは全体で654本。そのうち最高級の大間産は他に3本あったが、1キロ2万8千～4万3千円だった。

過熱する一方の最高値のマグロ争奪戦に、疑問の声が上がっている。

仲卸各社でつくる東京築地魚市場大物業会の伴忠夫会長は「最高値のマグロばかりが報道され、一部事業者の過剰な競争を引き起こし、市場の価格形成機能に影響が出かねない」と懸念を示す。

築地市場のある大手荷受会社も「適正な評価でないことは皆がわかっている。適正価格でいえば、今回のマグロは1キロ4万円台というところだろう」とみる。ただ、「広告宣伝費として考えれば別。インパクトがないとマスコミは騒がない。『今年は1億円超えるのでは』と言われていた」と話した。（井上恵一朗）

築地市場の生鮮本マグロ初競り最高値の変遷

The Asahi Shimbun

年	重さ(キロ)	キロ単価(万円)	金額(万円)	産地
2000	196	2.3	450	(青森県・大間)
01	202	10.0	2020	(大間)
02	215	1.3	279	(大間)
03	228	2.8	638	(大間)
04	151	2.6	392	(大間)
05	234	2.5	585	(大間)
06	191	2.0	382	(大間)
07	206	2.0	413	(大間)
08	276	2.2	607	(大間)
09	128	7.5	963	(大間)
10	232	7.0	1628	(大間)
11	342	9.5	3249	(北海道・戸井)
12	269	21.0	5649	(大間)
13	222	70.0	1億5540	(大間)

© 朝日新聞社　無断複製転載を禁じます。
すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

＊ © 朝日新聞社

朝日新聞　２０１１年１０月３日　夕刊　９ページ　東京本社

原発とメディア 1

「平和利用」への道 1

元科学部長の悔恨

そのとき、高津真也(89)は、横浜市内の自宅で台所に立っていた。病妻(84)の昼食を1時間ほどそばで見守ったあと、茶わんやコップを洗っていた。

3月11日午後2時46分、大地震発生。

高津は妻とともに食卓の下に伏せた。

その後、テレビが連日、東京電力福島第一原発を映し出した。地震と津波に襲われて電源を失った原発は、核燃料の溶融と水素爆発を起こして制御不能となった。

高津は、若き日に聞いた物理学者、湯川秀樹の言葉を思い起こしていた。

高津が朝日新聞社に入社したのは1950（昭和25）年秋。「文章を書くのが好き」で、大阪工業大学助教授（応用力学）から配者に転じた。大阪本社社会部に配属され、阪大、京大などの研究室を訪ねて科学ニュースを追った。

取材を通じて高津は、記者嫌いで知られた湯川の信頼を得た。湯川は、記事にしないことを念押ししたうえで、こう話した。

「原子力発電は感心しません。放射能の怖さをもっと認識してもらわないと。平和利用、平和利用と言うが、そんなに生やさしいものではありません」

新聞、雑誌が原子力の「平和利用」による明るい未来像を描き出していた時期だった。高津も原子力に期待を寄せ、57年には「（核）融合反応の平和利用」と題する論文を社内の研究誌に発表した。安全性に不安がないではなかったが、異論を唱える雰囲気はなかった。

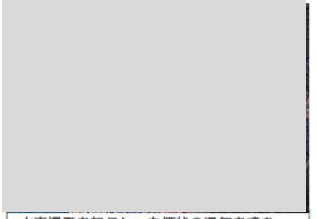
64年3月から約2年、朝日新聞の科学部長を務めた高津は今、悔恨をこめて語る。

「原子力の安全性の問題を、もっと紙面で取り上げるべきでした」

高津の著書「科学と現代社会」（81年）の巻頭に英物理学者パナールの次の言葉が引かれている。

「幻想をできるだけ排除することだ。未来は、あらゆる望みや願いを託するのに、あつらえむきの場だが、科学的予測においては、そういう願望は極めて人をあざむきやすい道案内である」

新聞などのメディアは原発をどう報じ、どう論じてきたのか。安全神話の形成にどうかかわったのか。その道のりを振り返る。（文中敬称略、編集委員・上丸洋一）



水素爆発を起こし、白煙状の湯気を噴き上げる福島第一原発３号機（中央）＝3月14日、米デジタルグローブ社提供

© 朝日新聞社　無断複製転載を禁じます。
すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

朝日新聞　２０１２年１２月２７日　夕刊　１２ページ　東京本社

原発とメディア 3.11後 25 306

ゼロへの道筋

原発をめぐる社説の転換について、現・論説主幹の大野博人(57)は「世論にリードされた部分もあった」と言う。

実際、「原発ゼロ社会」社説より1カ月前の2011年6月中旬に朝日新聞が実施した世論調査で、原発の段階的廃止への賛成は74％にのぼっていた。そのうねりは今年にかけ、原発の再稼働反対を訴える大規模な官邸前の抗議行動を生んだ。

大野は「代議制民主主義の壁を越えようとする直接の異議申し立てを前に、政党も新聞も、それを真正面から受け止めることができていない」と感じ、衆院選中も原発社説に取り組んだ。

今月3日付「温暖化対策　脱原発を前提に計画を」で、竹内敬二(60)は「節電や省エネ、自然エネルギーの拡大などを柱にした対策を進め、それを産業競争力の強化にもつなげていきたい」と説いた。高橋万見子(48)が担当した同9日付「原発政策　ゼロへの道筋を示せ」では、「実際に原発を閉めていくうえで最大の課題は、『どうやって』の部分だ」と再稼働や、使用済み核燃料の対策を問いかけた。

11日付で前田史郎(51)が執筆した「教賀原発　脱・安全神話の時代へ」は、「危険な原発は動かさない」という「当たり前の規制行政」を求めつつ、交付金に頼る地元の将来計画見直しを提案した。

だが、衆院選は原発政策の中身を競う場とはならず、再稼働に前向きな自民党が圧勝した。

脱原発の行方が不透明になるなか、新聞などの役割がこれまで以上に注目される局面を迎えようとしている。社説も、さらなる工夫を求められるに違いない。

上智大学文学部新聞学科教授の音好宏(51)は社説について、「社会の方向性を語るという点で重要だが、理想を大上段にかざしがちな傾向がある」と指摘。そのうえで「地に足がついた調査報道や、現実を反映した多様なオピニオンとの連動の中で、社説を提示していってもらいたい」と注文をつける。

反省を忘れず、理想倒れや迎合主義に陥らない。いかにぶれずに原発と向き合うのか、メディアの姿勢が問われている。

（文中敬称略、編集委員・小此木潔）＝おわり

論説主幹の大野博人は「もうひとつ事故を抱え込むようなリスクを減らすためにも、原発をなくしていかなくては」と言う＝東京都中央区の朝日新聞東京本社

© 朝日新聞社　無断複製転載を禁じます。
すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

＊ © 朝日新聞社

検証継続 報道の責務

原発とメディア　記者座談会

原発と メディア 原発 直視してきたか

メディアは原発とどう向き合ってきたのか、連載にだまされた

福島第一原発事故後の動きにもふれた。

原発 3・11後、メディアは「大震災報道」に加担したのか、今考えること

川本 東京電力メディア担当の立場だったが、東電の政府の要求を超える報道の現場の不足について

小出 本来・編集委員 宮崎哲弥 「情報操作」の要素は、原発推進の「安全神話」に加担したのか、今考えること

川本 原発デマは国が言ったから、何の根拠かと思ったが、なぜ事前に反対、警鐘を鳴らせなかったのか

小出 「原発」現場から遠ざけたい

川本 「原発」現場から遠ざけたい